



2022年3月期決算説明会

2022年5月30日



日本電設工業株式会社

目次

I . 会社概要	2
II . 2022年3月期決算概要	3
III . 部門別概況	9
IV . 2023年3月期業績予想	27
V . 日本電設3ヶ年経営計画2021	33
VI . 配当の推移	40

4本の柱で全国に事業展開

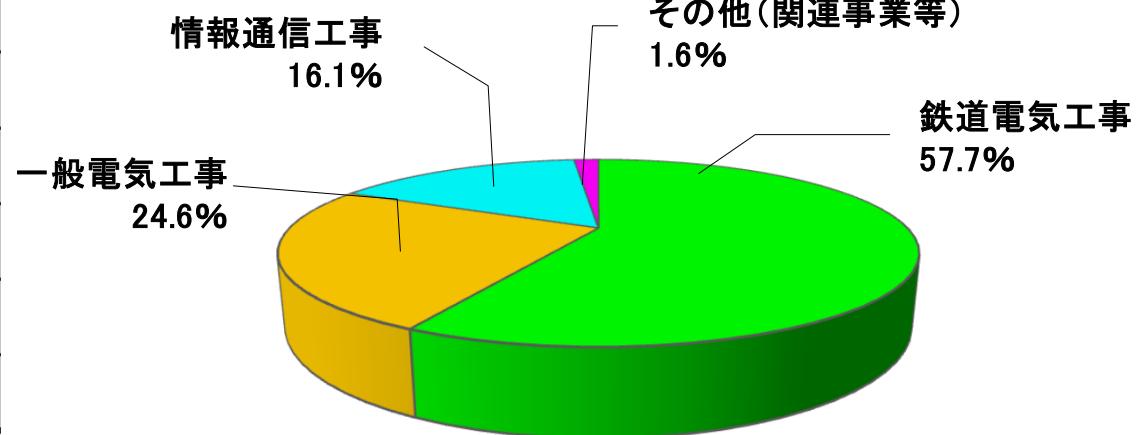
- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から80年
- JR東日本との強固な関係

部門別売上高構成額

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2022年3月期 売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄道電気工事	100,114	76,413
一般電気工事	42,668	1,863
情報通信工事	27,945	11,486
その他(関連事業等)※	2,841	18
合計	173,569	89,782(51.7%)

部門別売上高構成比率



※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

■決算のポイント【前期より減収減益となるも予想を上回る結果】

- 受注高は1,723億円となり、予想を大きく上回る
- 売上高は1,736億円、経常利益87億円と減収減益となるも予想を大きく上回る
- 次期繰越高は1,446億円、会計基準変更前では1,761億円となり過去最高

(())は売上高比率、単位:百万円

	2021年3月期実績	2022年3月期予想(A)	2022年3月期実績(B)	対予想比(B-A)
期首繰越高	175,763 —	144,252 172,491	144,252 172,491	— —%
受注高	190,660	166,400	172,335	5,935 3.6%
売上高	195,695 —	166,200 —	173,569 170,234	7,369 4.4% — —%
売上総利益	28,860 (14.7%) —	20,100 (12.1%) —	21,664 (12.5%) 21,664 (12.7%)	1,564 7.8% — —%
販売費及び一般管理費	14,672 (7.5%)	14,200 (8.5%)	14,209 (8.2%)	9 0.1%
営業利益	14,188 (7.3%)	5,900 (3.5%)	7,454 (4.3%)	1,554 26.4%
営業外損益	1,202 (0.6%)	1,100 (0.7%)	1,248 (0.7%)	148 13.5%
経常利益	15,390 (7.9%)	7,000 (4.2%)	8,703 (5.0%)	1,703 24.3%
特別損益	▲192 (▲0.1%)	— (—%)	▲386 (▲0.2%)	▲386 —%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,546 (4.9%)	4,800 (2.9%)	5,222 (3.0%)	422 8.8%
次期繰越高	172,491 —	146,003 174,242	144,574 176,147	▲1,428 ▲1.0% 1,905 1.1%

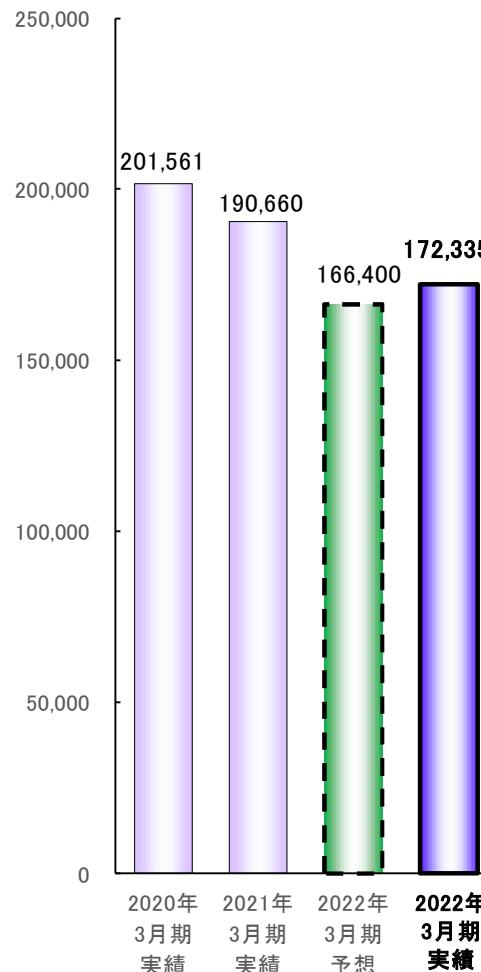
赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

2022年3月期実績

(単位:百万円)

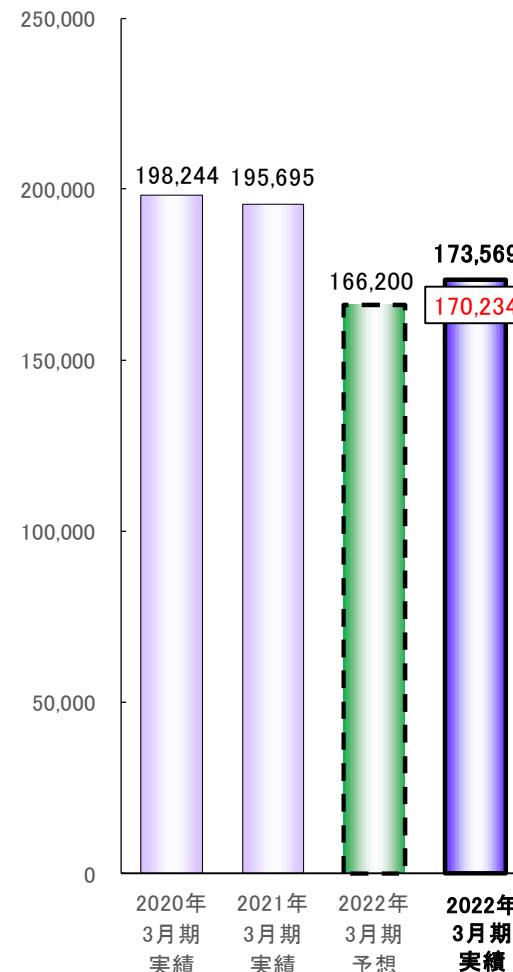
受注高

対前期比▲183億円
対予想比+59億円



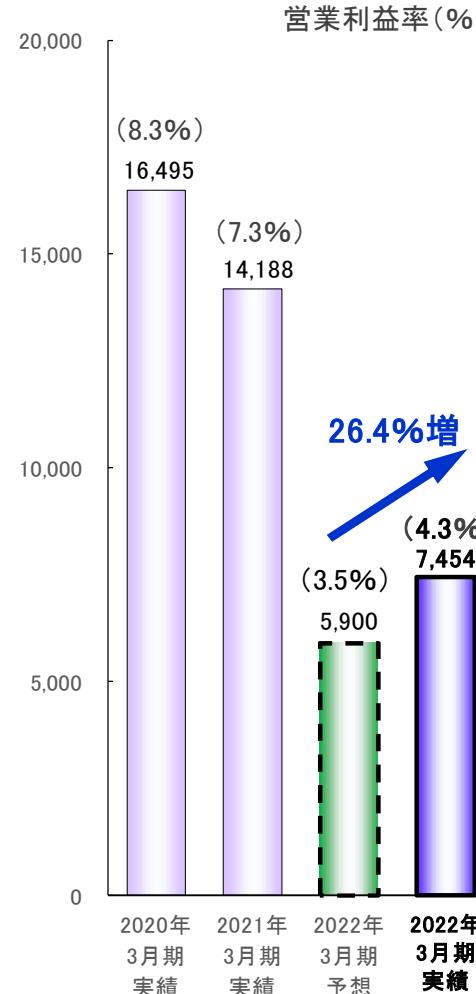
売上高

対前期比▲221億円
対予想比+74億円
対予想比+40億円



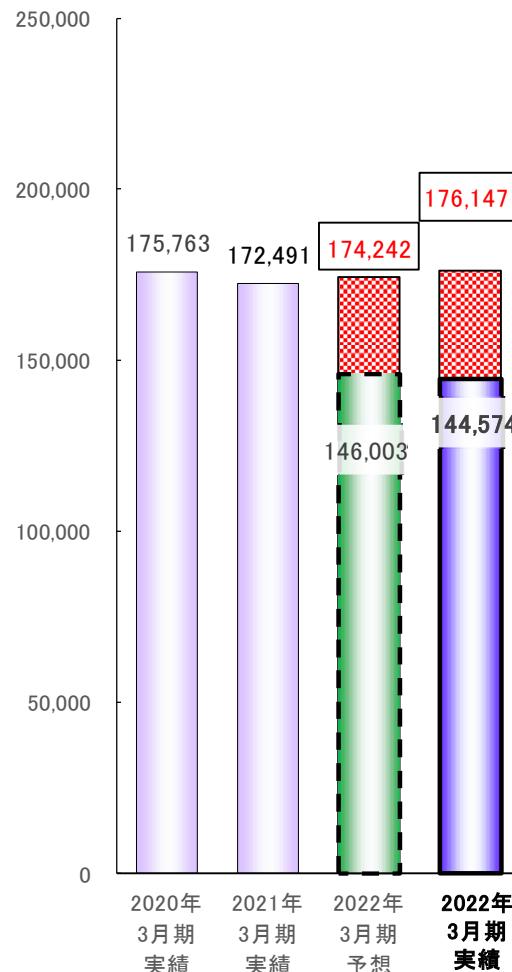
営業利益

対前期比▲67億円
対予想比+16億円



次期繰越高

対前期比▲279億円
対予想比▲14億円
対予想比+19億円



前期より減収減益となるも予想を上回る結果

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

鉄道電気工事の実績

2022年3月期

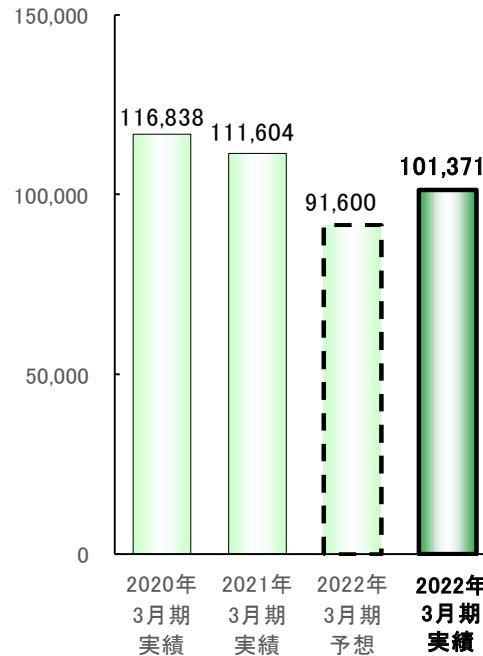


日本電設工業グループ

(単位:百万円)

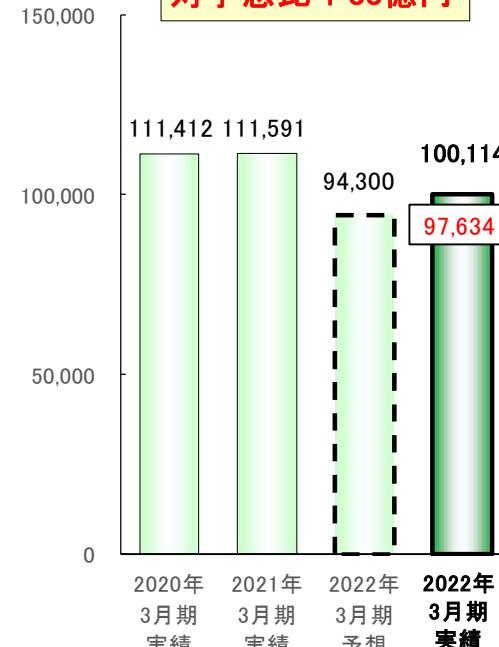
受注高

対前期比▲102億円
対予想比+98億円



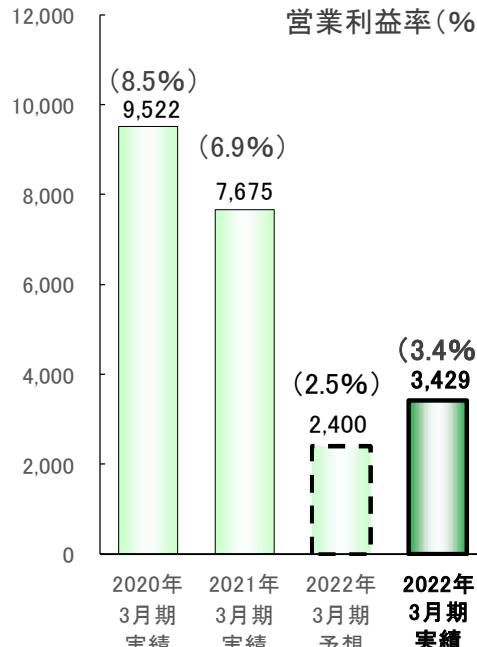
売上高

対前期比▲115億円
対予想比+58億円
対予想比+33億円



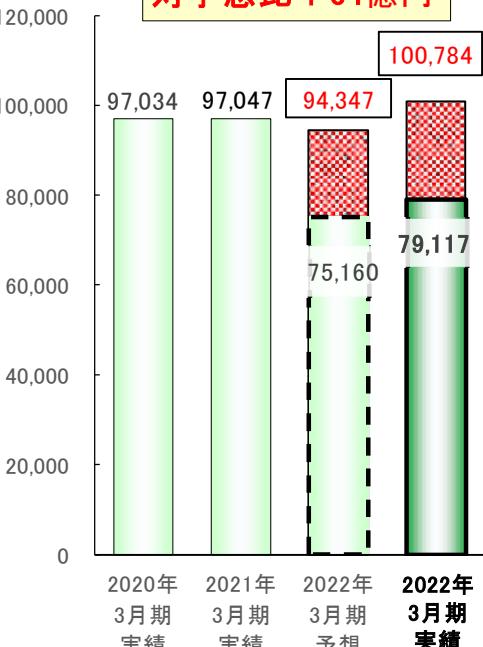
営業利益

対前期比▲42億円
対予想比+10億円



次期繰越高

対前期比▲179億円
対予想比+40億円
対予想比+64億円



■決算のポイント

- 受注高は各鉄道事業者の工事抑制の影響を受けるも、公営鉄道の変電所工事等の受注拡大により予想を大きく上回る
- 売上高は新幹線工事等の大型工事の施工が順調に推移したことなどにより予想を大きく上回る
- 営業利益は各鉄道事業者の工事抑制による売上高減少の影響を受けるも、効率的な施工により予想を上回る
- 次期繰越高は受注高増加により予想を上回り会計基準変更前では過去最高

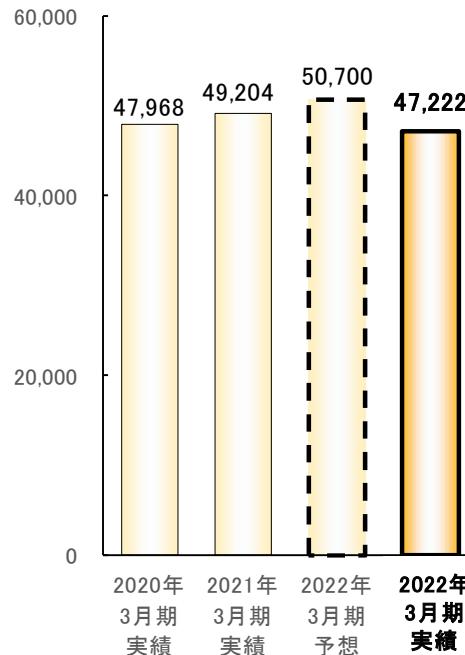
赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

一般電気工事の実績

(単位:百万円)

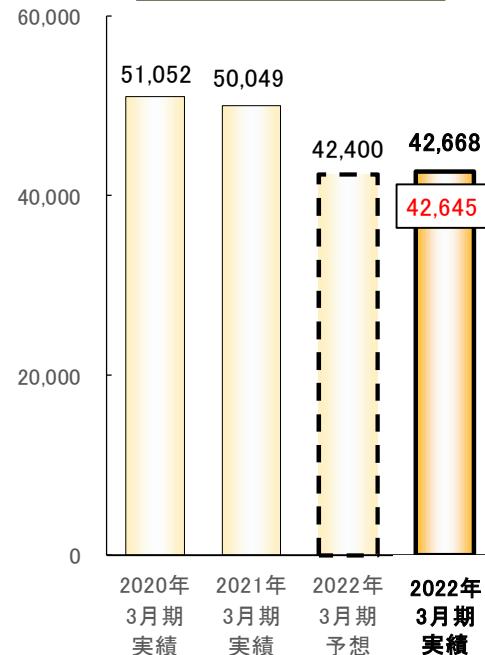
受注高

対前期比▲20億円
対予想比▲35億円



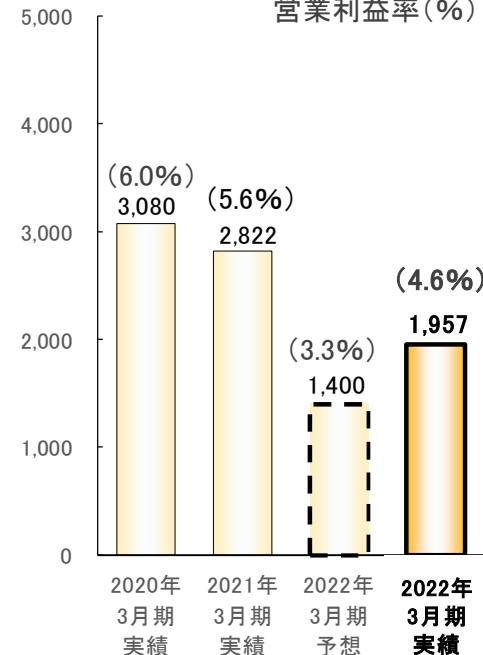
売上高

対前期比▲74億円
対予想比+3億円
対予想比+2億円



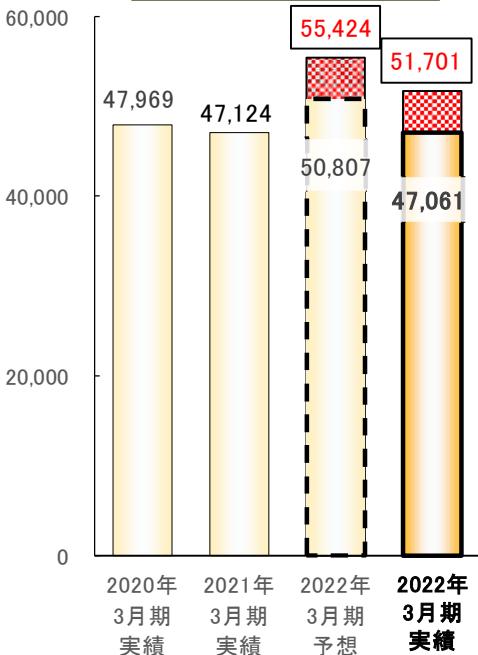
営業利益

対前期比▲9億円
対予想比+6億円



次期繰越高

対前期比▲1億円
対予想比▲37億円
対予想比▲37億円



■決算のポイント

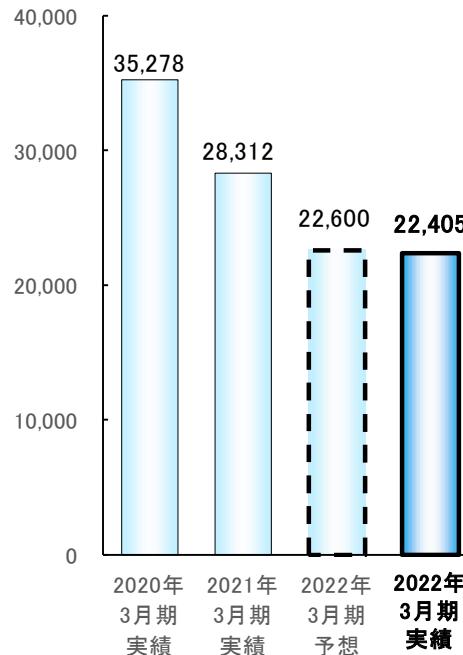
- ・受注高は予想を下回るも大型案件や官公庁工事を受注したことなどにより高水準を維持
- ・売上高は竣工物件の少ない端境期にあたり前期を下回るも概ね予想通り
- ・営業利益は売上高減少の影響により減少となるも、効率的な施工により予想を上回る
- ・次期繰越高は受注高減少により予想を下回るも会計基準変更前では過去最高

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

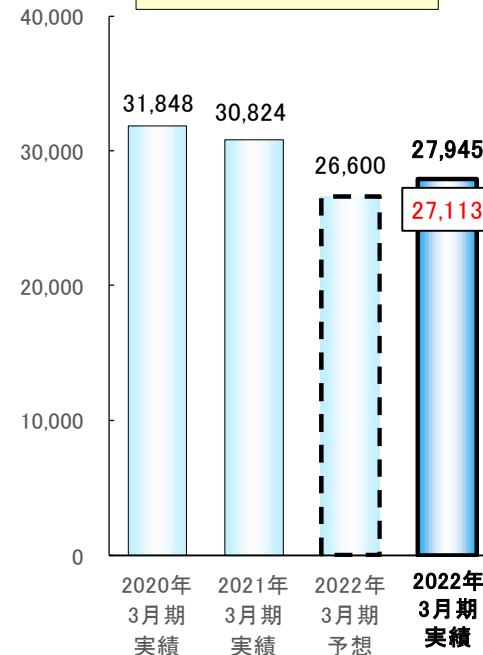
受注高

対前期比▲59億円
対予想比▲2億円



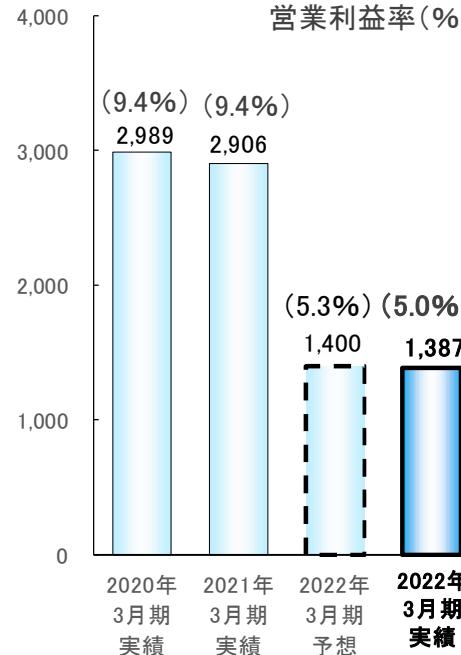
売上高

対前期比▲29億円
対予想比+13億円
対予想比+5億円



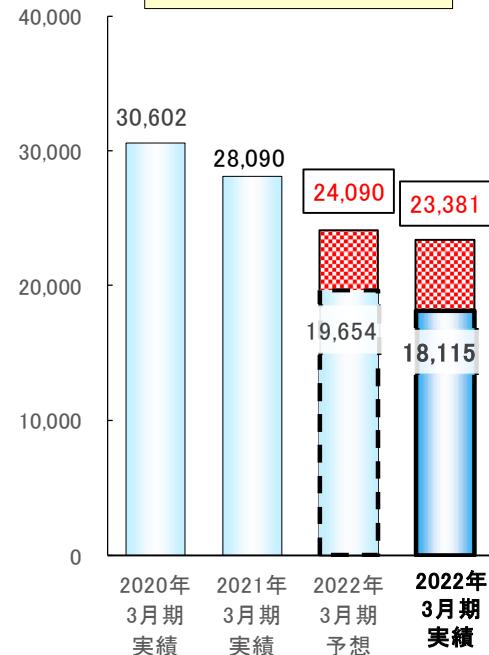
営業利益

対前期比▲15億円
対予想比▲0億円



次期繰越高

対前期比▲100億円
対予想比▲15億円
対予想比▲7億円



■決算のポイント

- ・受注高は得意先の工事抑制により減少となるも、大型のネットワーク工事の受注により概ね予想通り
- ・売上高は不感地対策工事収束の反動等により減少となるも予想を上回る
- ・営業利益は売上高減少の影響により減少となるも概ね予想通り
- ・次期繰越高は受注高減少および売上高増加の影響を受け予想を下回る

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

(単位:百万円)

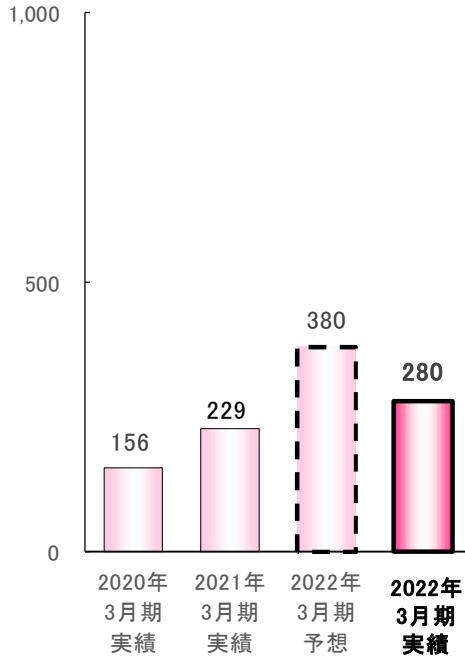
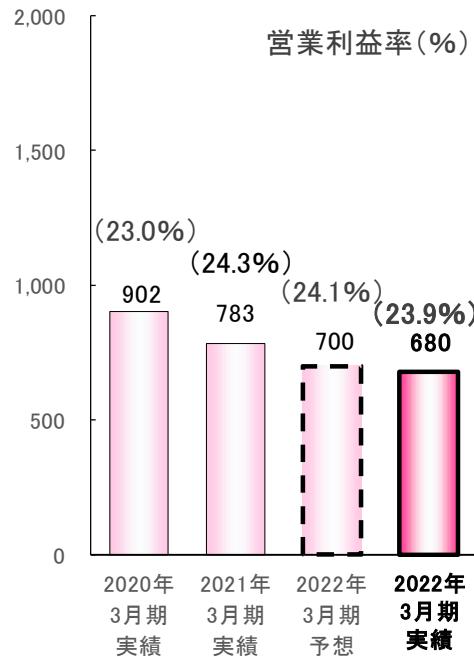
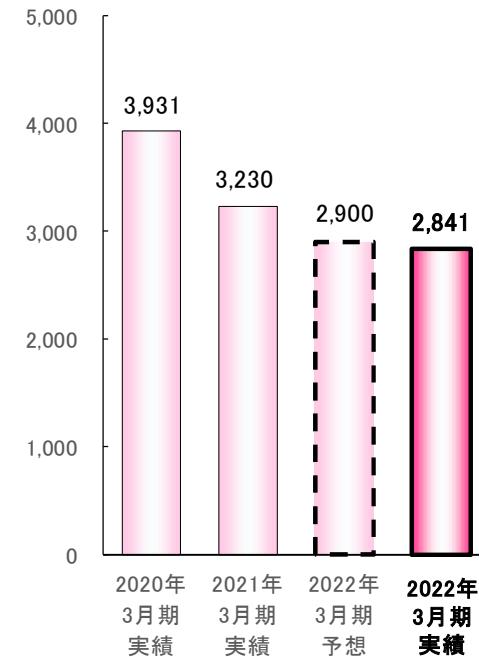
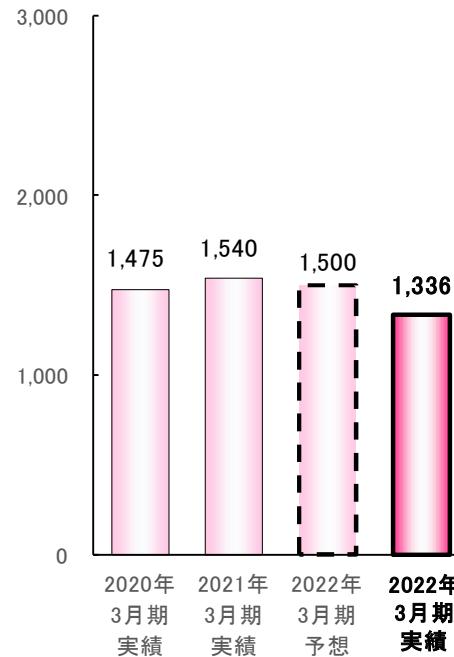
受注高**売上高****営業利益****次期繰越高**

対前期比▲2億円
対予想比▲2億円

対前期比▲ 4億円
対予想比▲0.6億円

対前期比▲ 1億円
対予想比▲0.2億円

対前期比+0.5億円
対予想比▲1億円

**■決算のポイント**

- ・売上高は賃貸ビルのテナント退去および大型工事の調査・設計受託減により減少となるも概ね予想通り
- ・営業利益は売上高減少の影響により減少となるも概ね予想通り

注:「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない。

III. 部門別概況

鉄道電気工事の概況

● 主な受注・施工実績

東日本旅客鉄道㈱
JR東日本を除くJR各社
公営鉄道・民営鉄道等

2021年度設備検査修繕工事
(東日本電気エンジニアリング㈱)



札幌市交通局
地下鉄東西線剛体電車線張替工事

北海道旅客鉄道㈱
北海道新幹線長万部駅支障移転

道南いさりび鉄道㈱
五稜郭・七重浜間古川道路踏切構造改良

山形新幹線福島駅上リアプローチ線新設
電車線・電力・信号設備改良支障移転

阿武隈急行㈱
信号ケーブル更新工事

宇都宮市・芳賀町
芳賀・宇都宮LRT

新潟駅全面高架化工事

しなの鉄道㈱
信濃追分・御代田間
支持物建替その他工事

静岡鉄道㈱
支持物更新工事

東海道ほか8線区
電車線路設備修繕(単価)

名古屋市交通局
御器所変電所の更新に伴う
き電線等張替工事

西日本旅客鉄道㈱
米原駅(西部)連動装置取替他工事

北海道旅客鉄道㈱
岩見沢電気所ほか1所電車線支持物取替

青い森鉄道㈱
下田構内継電連動化に伴う切替工事その他

仙台市交通局
地下鉄南北線高圧配電線路設備更新工事
(河原町駅～長町駅間)

常磐線天王台構内電車線路修繕

東北幹新田端変電所(1号棟)外
4箇所配電盤取替他

国分寺・立川間グリーン車導入信号設備新設他

渋谷駅改良第4回切換信号設備改良他

品川駅中央新幹線信号設備支障改修工事

東京地下鉄㈱
永田町変電所設備機器改良工事

東京都交通局
(都営)大江戸線光が丘変電所変電設備更新工事

東京都交通局
(都営)浅草線大門変電所変電設備更新工事

東急電鉄㈱
東横線元住吉変電所機器更新工事(その6)

高崎線岡部駅・本庄駅構内間電車線路修繕工事

大宮操車場連動装置取替信号設備改良工事

横浜市交通局
市営地下鉄片倉変電所機器更新工事

(独)鉄道・運輸機構
相鉄・東急直通線 羽沢横浜国大～新横浜間 電力設備新設
羽沢横浜国大～日吉間 信号設備新設

鉄道電気工事の概況(JR東日本)

● 東北新幹線災害復旧工事 *NEW*

2022年3月16日に福島県沖で発生した地震では、東北新幹線の電車線路設備において電柱損傷などの甚大な被害が発生し、復旧工事を施工した。

仙台・一ノ関間が4月4日始発から、福島・仙台間が4月14日始発から運転再開となり、29日ぶりに全線で運転を再開。5月13日始発から通常ダイヤでの運転を再開。



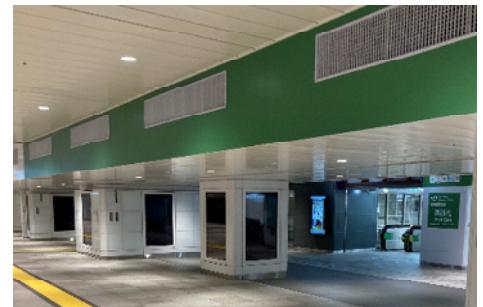
復旧工事施工の様子

● 駅改良工事

混雑緩和を目的としたコンコース拡幅などの駅サービス機能の強化や省エネ対応に伴う照明設備のLED化等の改良工事を行っており、当社は電気工事を担当している。



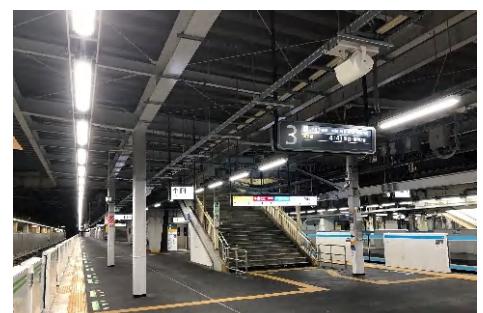
東京駅北通路



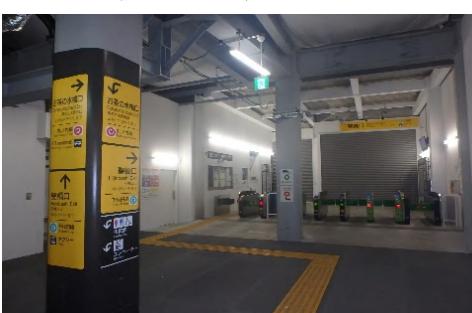
新宿駅東西自由通路



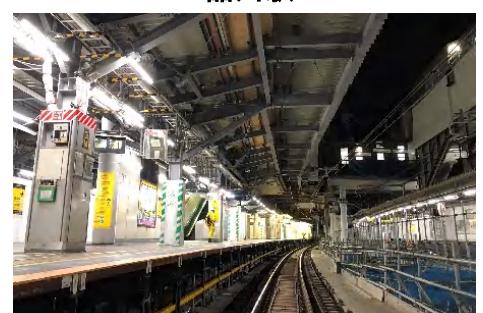
横浜駅南改札内通路



品川駅



御茶ノ水駅聖橋口(仮設)



渋谷駅 山手線内回り線路切換

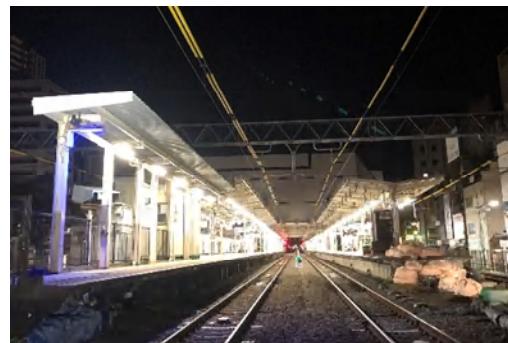
鉄道電気工事の概況(JR東日本)

●中央快速線等へのグリーン車サービス開始に向けて

サービス開始に向けて、駅や信号設備等の改修が行われており、当社も信号改良工事を始めとして各種工事を施工中。今後もさらなる受注に向けて営業活動を行っていく。



国立駅

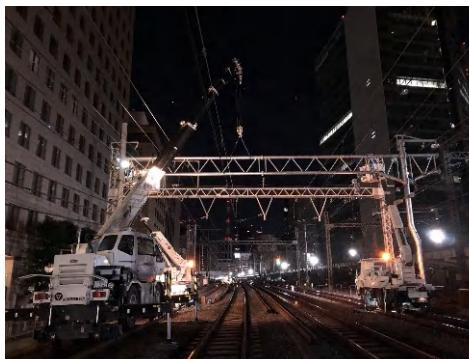


三鷹駅

●鉄道電気設備の老朽化対策

鉄道電気設備の経年劣化に伴う、電力設備や信号設備の改修等を担当している。

既存設備の改修工事に加え、耐震化や長寿命化、メンテナンスの省力化を見据えた大規模改修、システム更新工事などの需要も高まってきており、プロジェクトへの参画を通じて鉄道の安全・安定輸送の確保に貢献していく。



電車線路改良



変電所機器取替



信号設備改良



送電線張替

鉄道電気工事の概況(JR東日本ほか)

●JR東日本
新幹線電化柱耐震補強、高速化に
向けた架線改良

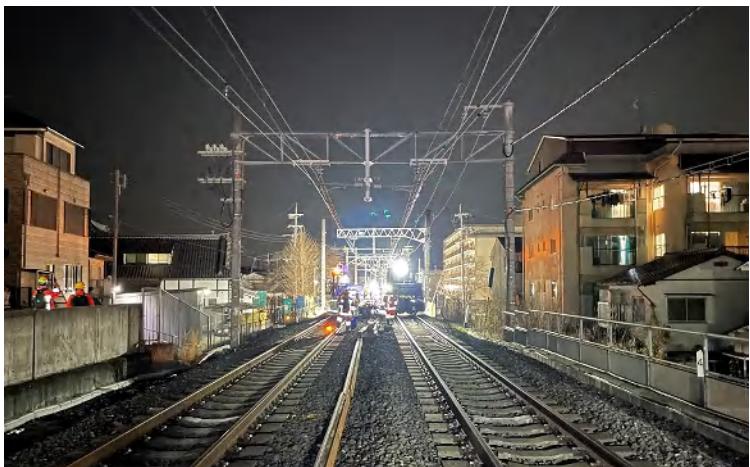


●JR東日本
新潟駅全面高架化工事 *NEW*



2022年6月 全線高架化予定

●JR西日本
奈良線複線化事業 *NEW*



2022年2月 完成

●JR西日本
ハイパー架線事業 *NEW*



鉄道電気工事の概況(公民鉄)

●公民鉄工事

受注拡大に向けて全国の公民鉄事業者から工事計画の情報収集等を行う。

2021年度は変電所設備更新(東京都交通局、横浜市交通局、東京地下鉄、東急電鉄、東武鉄道)や沖縄都市モノレール3両化に伴う大型工事等を受注している。

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
受注高	91	98	103	193
売上高	82	95	100	119 (117)

※ 売上高の()内は会計基準変更前の参考値
整備新幹線工事を除く



(都営)浅草線馬込変電所変電設備更新工事 **NEW**



沖縄都市モノレール インフラ外電気設備工事

沖縄都市モノレール株式会社ホームページより

鉄道電気工事の概況(公民鉄)

●相鉄・東急直通線

(独)鉄道・運輸機構および東急電鉄(株)から発注された相鉄・東急直通線の電灯電力、信号、通信設備工事を受注している。



相模鉄道㈱プレス資料より



新横浜駅ホームの様子

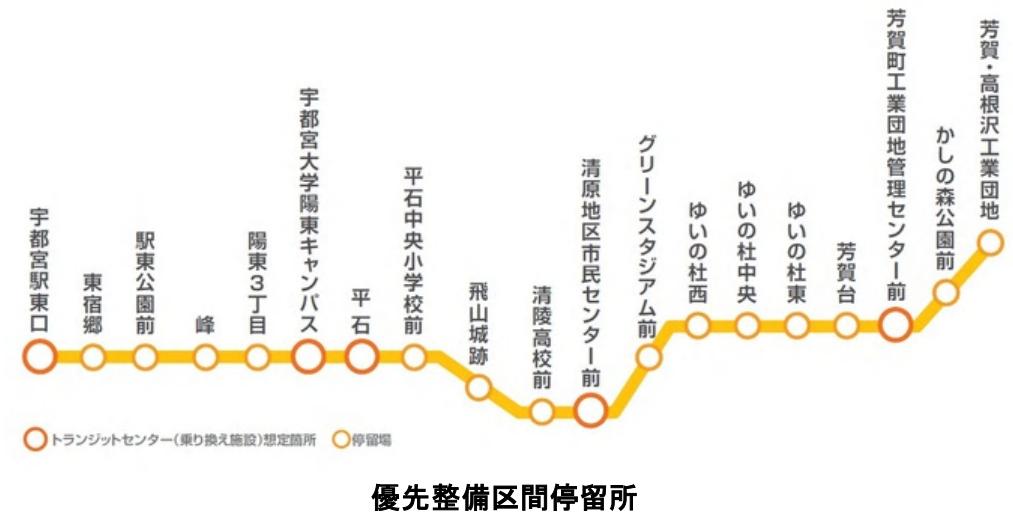


羽沢トンネル内部の様子

2022年度 下期開業予定

●芳賀・宇都宮LRT

2021年度に宇都宮市から発注された電車線路工事を3件、芳賀町より1件受注している。



※LRTは、ライト・レール・トランジットの略で交通渋滞の緩和、環境や高齢化問題などの解消を図るために導入が進められている新しい都市交通システムです。



今泉変電所(2019年9月完成)



LRT導入イメージ

宇都宮市ホームページより

2023年3月 優先整備区間開業予定

鉄道電気工事の概況(公民鉄)

●仙台市交通局

地下鉄南北線設備更新 **NEW**



●京成電鉄

押上線(四ツ木駅～青砥駅)連続立体交差事業



●西武鉄道

西武新宿～高田馬場間電柱建替



●大阪メトロ

1・3号線電力設備取替工事 **NEW**



鉄道電気工事の概況(整備新幹線)

●整備新幹線延伸計画

西九州新幹線の電車線路、電力、通信設備および北陸新幹線の変電、電車線路、電力、信号、通信設備の工事を受注している。

受注・売上高実績

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
受注高	24	72	34	19
売上高	—	2	32	43 (35)

※ 売上高の()内は会計基準変更前の参考値

- ・西九州新幹線 2022年9月23日 開業予定
- ・北陸新幹線 2024年度 開業予定



西九州新幹線(大村車両基地)

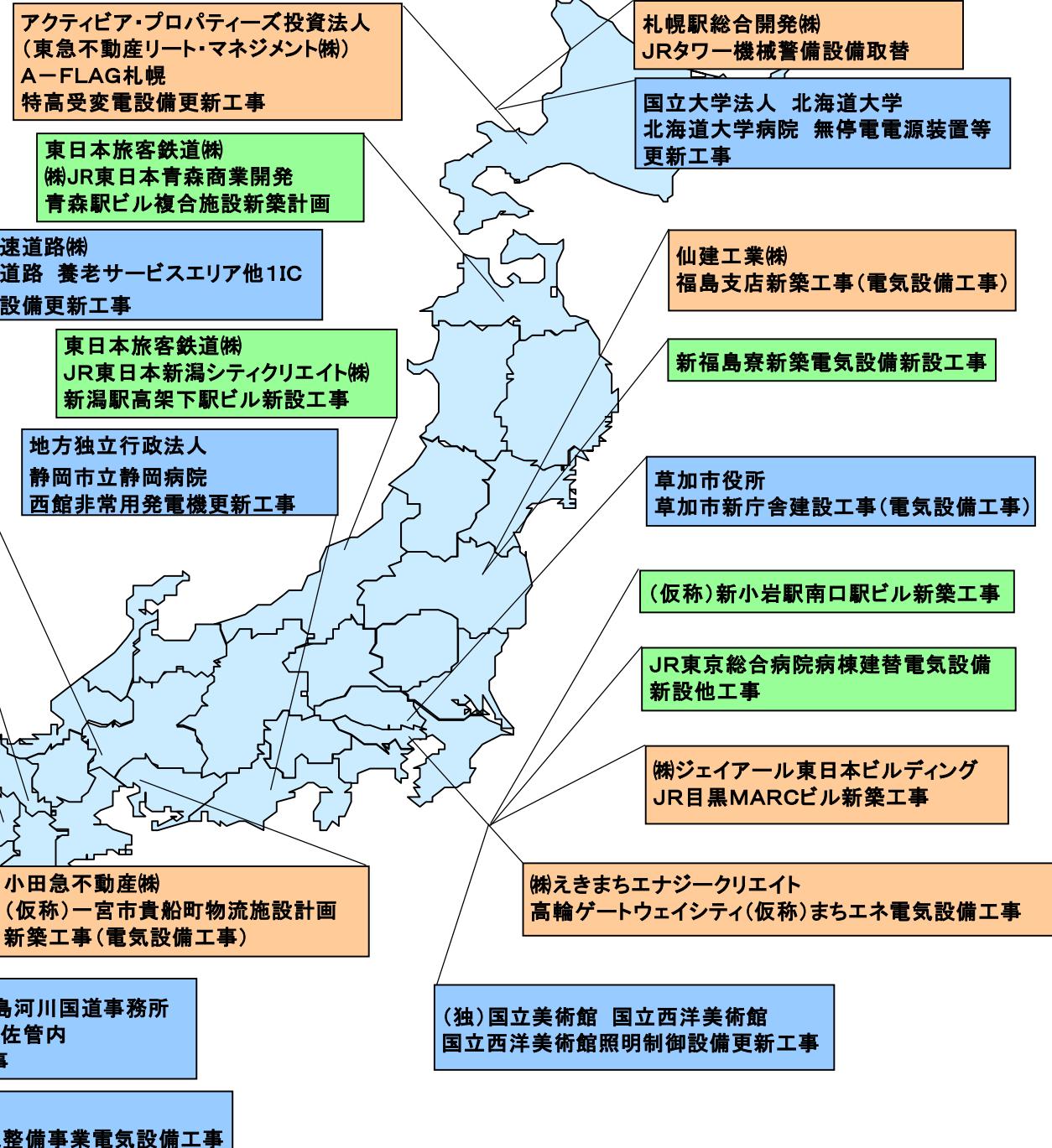
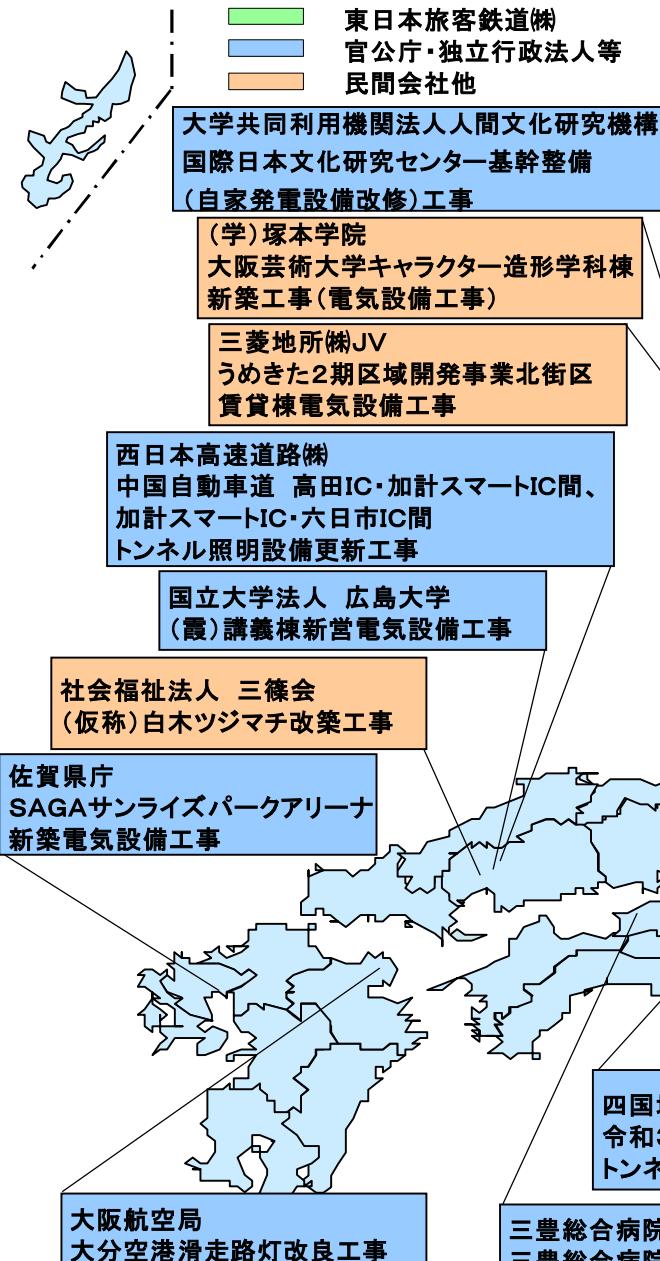


北陸新幹線(新坂井変電所)



一般電気工事の概況

● 主な受注・施工実績



一般電気工事の概況

●主なプロジェクト工事(民間)

【JR目黒MARCビル新築工事】



2022年3月 完成

画像提供: 株ジェイアール東日本ビルディング

【(仮称)新小岩駅南口駅ビル新築工事】 **NEW**



2023年12月 完成予定

東日本旅客鉄道(株)ホームページより

Copyright(C)2022 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved

【高輪ゲートウェイシティ(仮称)まちエネ電気設備工事】



複合棟 I

2024年度末 完成予定

複合棟 II・文化創造棟・住宅棟 2025年度中 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道(株)

【新潟駅高架下駅ビル新設工事】 **NEW**



2024年春頃 完成予定

画像提供: 東日本旅客鉄道(株)

今後の検討・協議により変更の可能性があります

一般電気工事の概況

●主なプロジェクト工事(官公庁)

【国立西洋美術館照明制御設備更新工事】



2022年2月 完成

画像提供: (独) 国立美術館 国立西洋美術館

【大分空港滑走路灯改良工事】



2022年3月 完成

別府港湾・空港整備事務所ホームページより

【三豊総合病院企業団 健診棟整備事業電気設備工事】



2023年4月 完成予定

三豊総合病院ホームページより

【中国自動車道 高田IC・加計スマートIC間、
加計スマートIC・六日市IC間トンネル照明設備更新工事】



2021年12月 完成

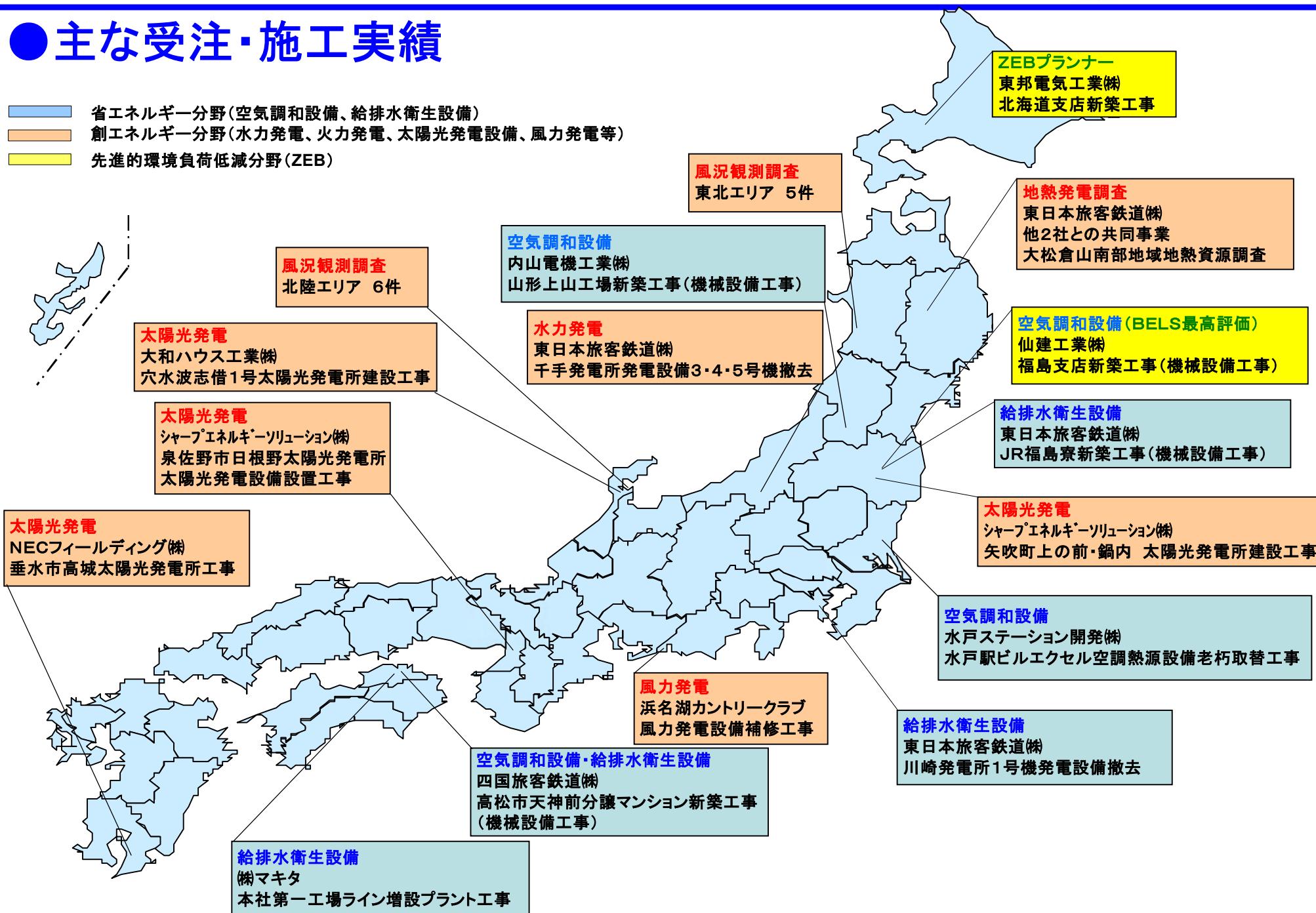
高田IC～加計スマートIC間の施工写真

環境・エネルギー工事の概況



● 主な受注・施工実績

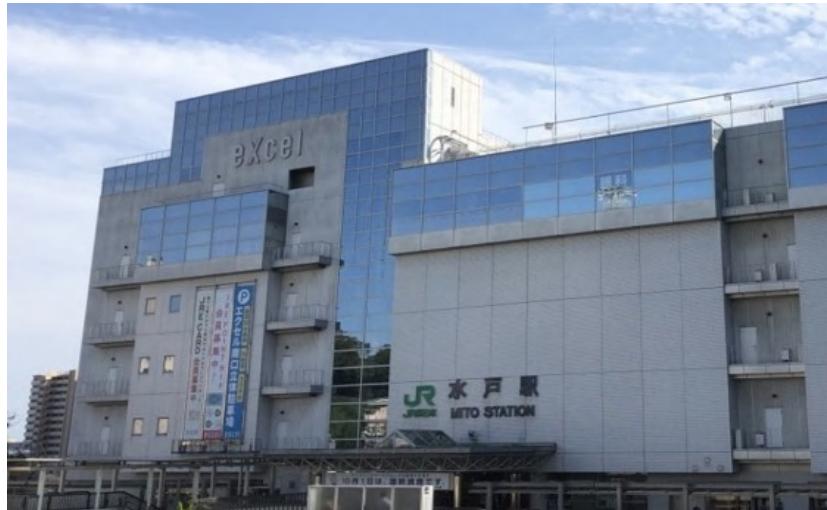
- 省エネルギー分野(空気調和設備、給排水衛生設備)
- 創エネルギー分野(水力発電、火力発電、太陽光発電設備、風力発電等)
- 先進的環境負荷低減分野(ZEB)



環境・エネルギー工事の概況

省エネルギー分野

【水戸駅ビルエクセル空調熱源設備老朽取替工事】



2022年6月 完成

省エネルギー分野

【川崎発電所1号機発電設備撤去】



2027年1月 完成予定

画像提供:東日本旅客鉄道㈱

省エネルギー分野

【高松市天神前分譲マンション新築工事】 **NEW**



2023年6月 完成予定

四国旅客鉄道㈱ホームページより

創エネルギー分野

【千手発電所発電設備3・4・5号機撤去】 **NEW**



2027年2月 完成予定

画像提供:東日本旅客鉄道㈱

環境・エネルギー工事の概況

●ZEB化事業の推進

- ◇ZEBプランナー登録 (2018年2月)
- ◇ZEBリーディング・オーナー登録 (2020年1月)

- ◇環境エネルギー本部を発足 (2020年9月)
一般電気工事分野、環境設備分野および創エネルギー分野において、ZEB等で培った総合技術を活かすなど営業の裾野を広げ、さらなる受注拡大を図る。

- ◇ZEBプランナーの実績
東邦電気工業(株)北海道支店新築工事
- ◇ZEB対応の実績
道後温泉 ホテル古湧園 遙(ZEB Ready)

- ◇ZEB対応の自社ビル
NDK千葉ビル
TEMS小牛田SC
NDK新潟ビル
TEMS新青森事務所
NDK秋田ビル
NDK仙台東ビル
- (Nearly ZEB)
(Nearly ZEB)
(Nearly ZEB)
(ZEB Ready)
(ZEB Ready)
(ZEB)

●BELS申請の推進

- ◇BELS最高評価(星5つ)の取得 2棟



※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、
またはマイナスの建築物
Nearly ZEB: 75%以上省エネの建築物
ZEB Ready: 50%以上省エネの建築物

※BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)
省エネルギー性能に特化した評価・表示制度
であり、建築物の一次エネルギー消費量に基づき評価機関が5段階で評価する。



道後温泉 ホテル古湧園 遙
新築ZEB化事業工事(2019年10月完成)



NDK千葉ビル(2019年11月完成)



TEMS小牛田SC (2020年3月完成 施工のみ)



NDK新潟ビル(2021年2月完成)



TEMS新青森事務所(2021年3月完成)



NDK秋田ビル(2021年4月完成)

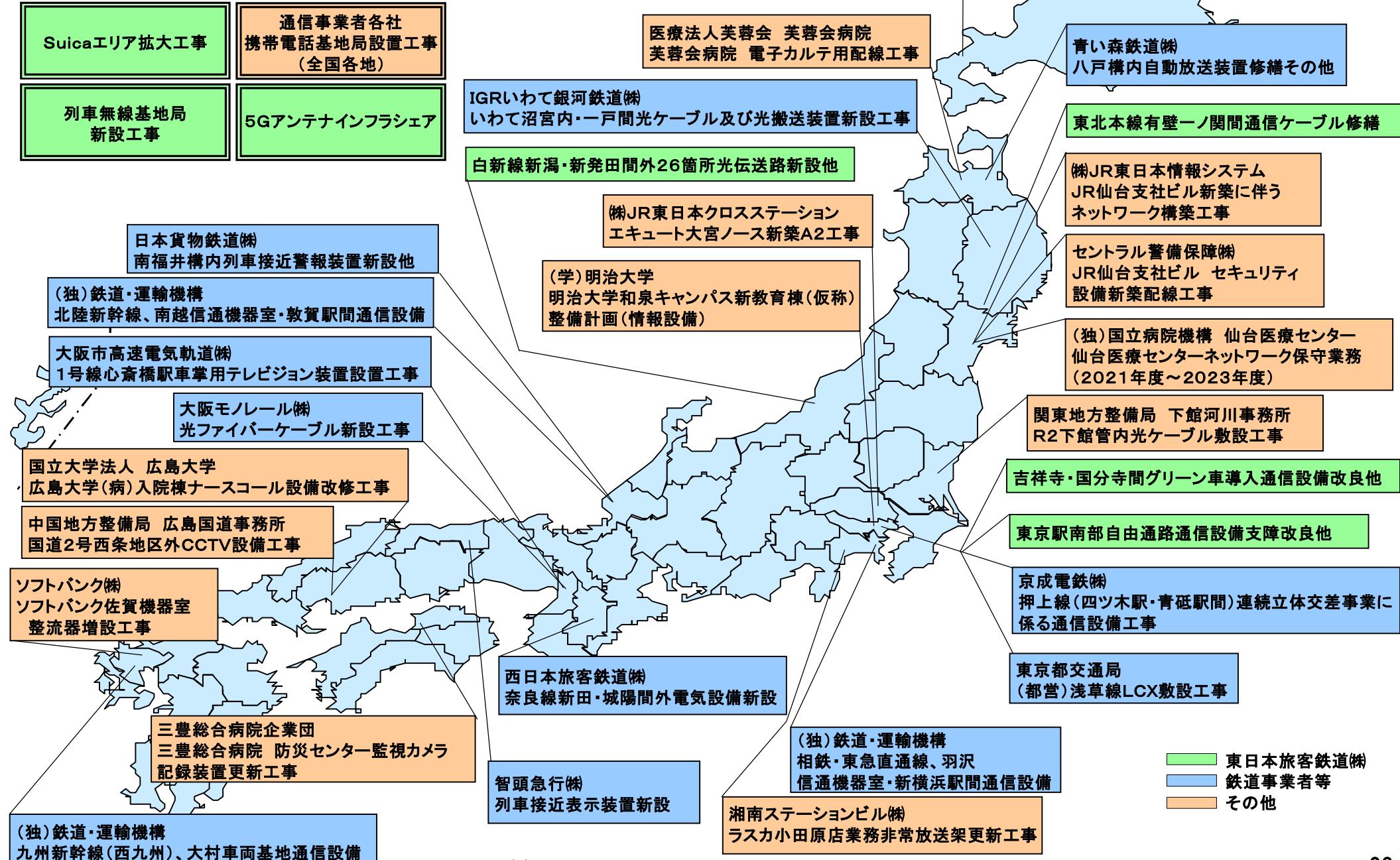


NDK仙台東ビル(2021年11月完成)



情報通信工事の概況

● 主な受注・施工実績



情報通信工事の概況

●ネットワークインフラ整備 **NEW**

JR目黒MARCビル新築工事、明治大学和泉ラーニングスクエア新築工事。

ネットワークインフラ等の情報設備のほか電気設備も施工した。

今後全国でのネットワーク関連工事の受注拡大、データセンター内のネットワーク工事や大型案件の受注を目指す。

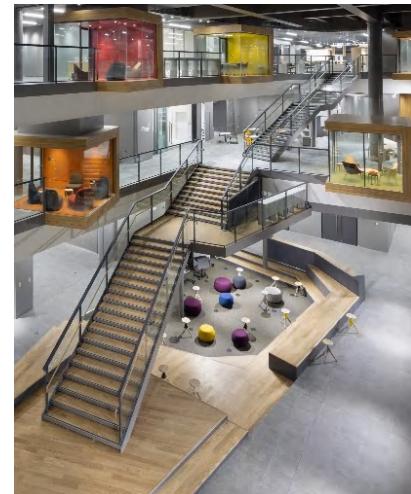
JR目黒MARCビル



2022年3月 完成

画像提供: 東日本ビルディング

明治大学和泉ラーニングスクエア

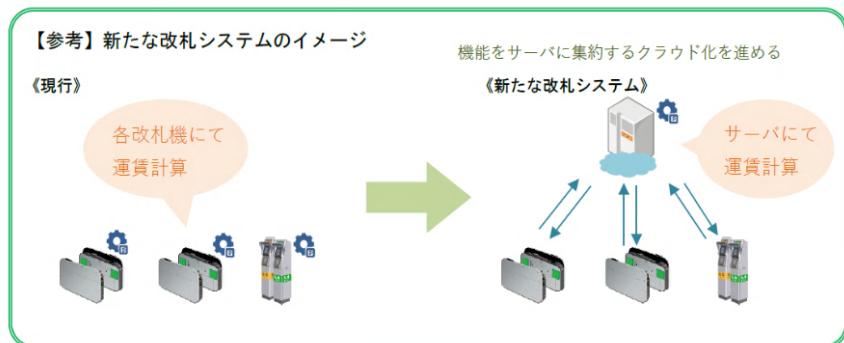


2022年3月 完成

画像提供:(学)明治大学

●新たな改札システム

JR東日本において使用が予定される新たな改札システムに必要なネットワーク関連工事等の受注を目指す。

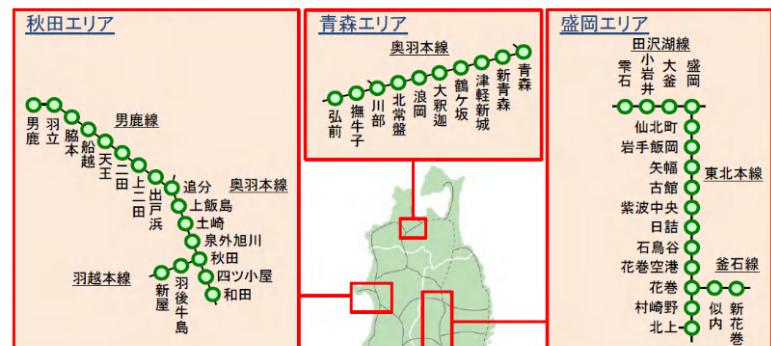


東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

●北東北3県Suicaエリア拡大

JR東日本では、お客様の利便性向上を目的として、青森県、岩手県、秋田県において、Suicaエリアの拡大を予定している。

●サービス導入予定エリア



サービス開始予定期: 2023年春以降

東日本旅客鉄道㈱プレス資料より

Copyright(C)2022 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved



情報通信工事の概況

●携帯電話各社の基地局工事

携帯電話各社の5G基地局工事などを継続的に施工している。

今後も全国での施工実績を活かし、各社の5G基地局工事および関連工事の受注拡大に向けて営業活動を行っていく。



●楽天モバイル関連工事

楽天モバイルの4Gおよび5G基地局設置工事を施工している。

今後も全国での施工実績を活かし、基地局設置工事に加え回線集約局等の受注に向けて営業活動を行っていく。



●5Gアンテナインフラシェア

JR東日本の新事業となる5Gアンテナインフラシェアは、今後鉄道沿線を含めJR東日本グループ資産を最大限に活用し展開する予定としている。
(東日本旅客鉄道(株)プレス資料より)

2021年度までに計16駅を施工し、2022年度も首都圏駅を中心に施工を進める予定である。



東日本旅客鉄道(株)プレス資料より



5Gアンテナ

関連事業の概況

●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で24棟・674戸の賃貸マンションを運営
(入居率95%)



ロータス西千葉(千葉県千葉市)
2022年3月完成(学生マンション)

- ・社員寮の跡地に賃貸マンションを建設中(千葉県我孫子市)
- ・収益性の高い不動産事業への投資を検討



NDK第一池之端ビル(東京都台東区)



NDK静岡ビル(静岡県静岡市)

●新規事業

保有不動産を活用した新たな事業開発

- ・学生専用賃貸マンション事業の拡大
ロータス黒砂台:独身寮をリノベーション
ロータス西千葉:社屋跡地に建設

販売事業の収益力強化

- ・開発成果品販売サイトの充実による販売拡大を推進
- ・共同購買システム
- ・損害保険のWEB契約導入

●建築設備・ビルサービス事業の拡大

建設設備工事、ビル管理業務を受託

(NDK総合サービス(株))



NDK仙台東ビル管理業務



新陽社芝園ビル駐車場設備工事

賃貸不動産売上高	2021年3月期	2022年3月期
通期	1,147百万円	1,104百万円

IV. 2023年3月期業績予想

■ 業績予想のポイント【効率的な施工と工事採算性の改善を目指す】

- 不採算工事を回避した選別受注により受注高は対前期比で減少となるも、豊富な手持工事の効率的な施工および工事採算性の改善により増益を目指す
- 次期繰越高は減少となるも高水準を維持

(()は売上高比率、単位:百万円)

	2022年3月期実績	2023年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	144,252	144,574	322	0.2%
	172,491	176,147	3,656	2.1%
受注高	172,335	166,850	▲5,485	▲3.2%
売上高	173,569	175,200	1,630	0.9%
	170,234	175,200	4,965	2.9%
売上総利益	21,664 (12.5%)	23,380 (13.3%)	1,715	7.9%
販売費及び一般管理費	14,209 (8.2%)	13,940 (8.0%)	▲269	▲1.9%
営業利益	7,454 (4.3%)	9,440 (5.4%)	1,985	26.6%
営業外損益	1,248 (0.7%)	1,070 (0.6%)	▲178	▲14.3%
経常利益	8,703 (5.0%)	10,510 (6.0%)	1,806	20.8%
特別損益	▲386 (▲0.2%)	— (—%)	386	—%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,222 (3.0%)	6,870 (3.9%)	1,647	31.5%
次期繰越高	144,574	138,031	▲6,542	▲4.5%
	176,147	169,604	▲6,542	▲3.7%

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

2023年3月期業績予想

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+3億円

受注高

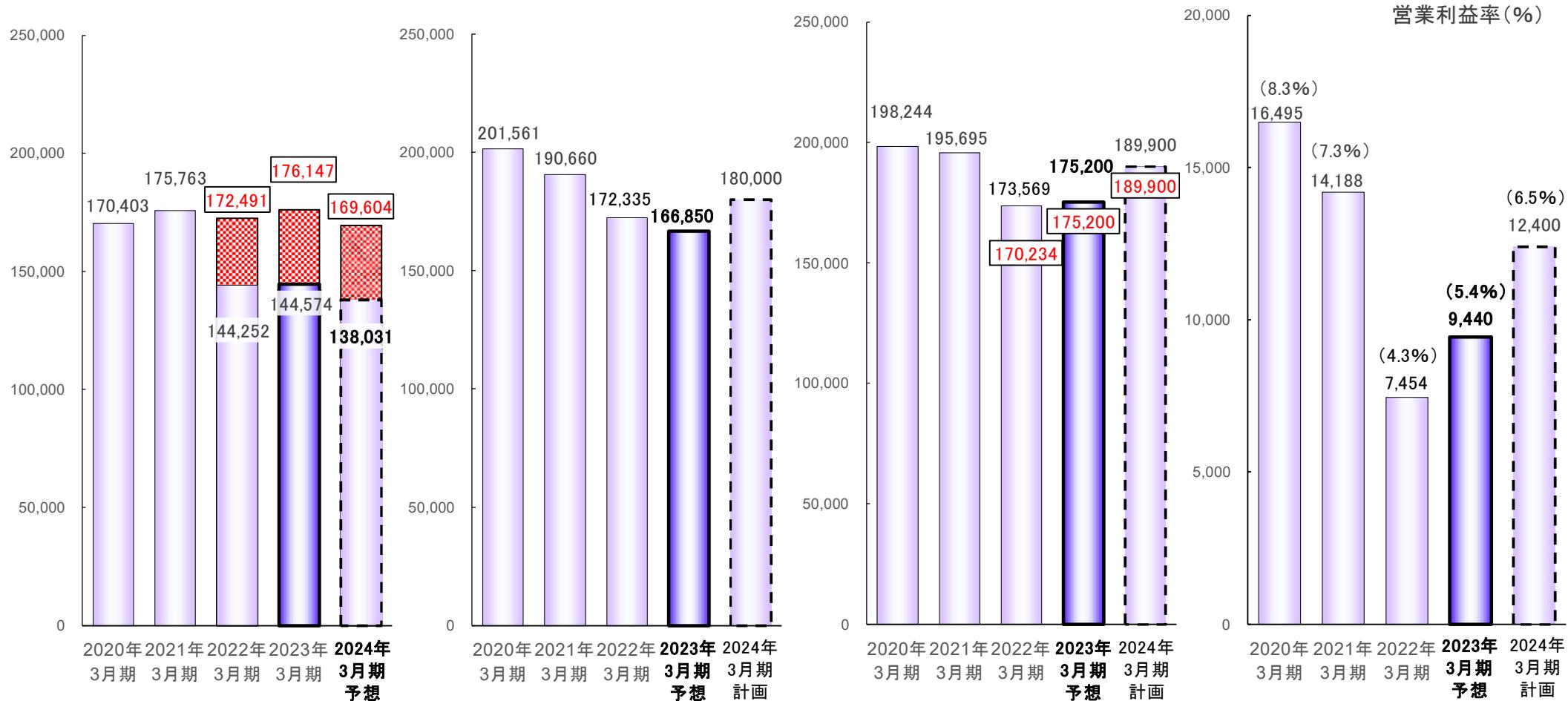
対前期比
▲55億円

売上高

対前期比
+16億円

営業利益

対前期比
+20億円



効率的な施工と工事採算性の改善を目指す

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

Copyright(C)2022 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved

鉄道電気工事の予想

2022年3月期



(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+13億円

受注高

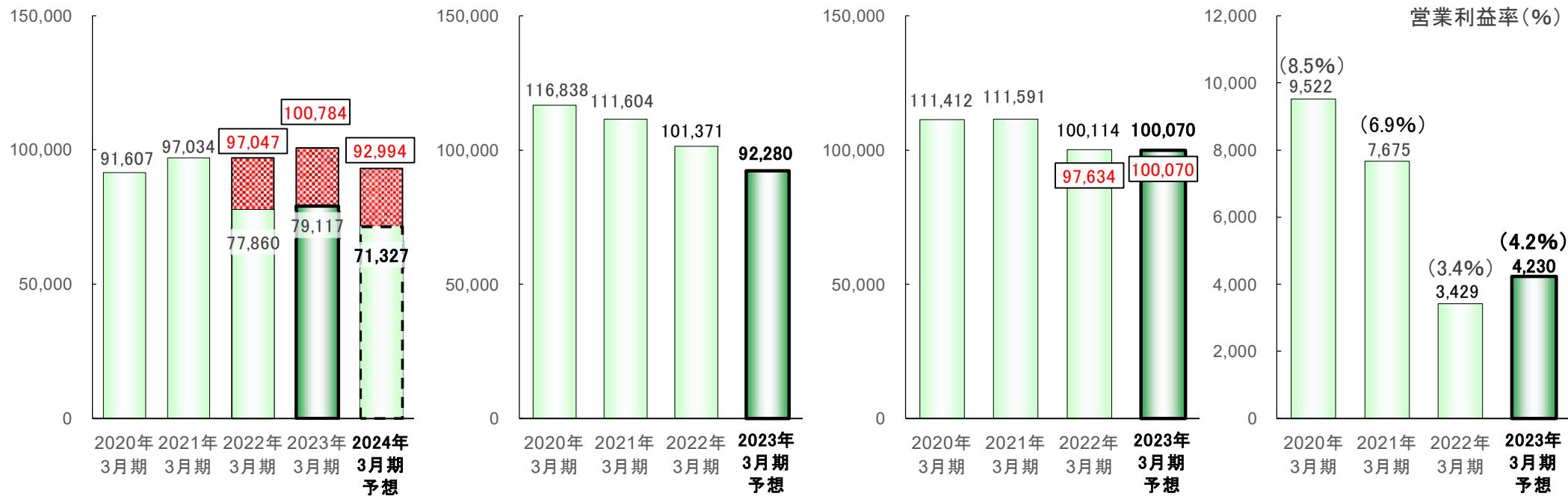
対前期比
▲91億円

売上高

対前期比
▲0億円

営業利益

対前期比
+8億円



■業績予想のポイント

- 各鉄道事業者の工事抑制等の影響により受注高の減少を見込む
- 豊富な手持工事の効率的な施工により売上高を確保し、工事採算性の改善により利益の増加を目指す

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比
+46億円

受注高

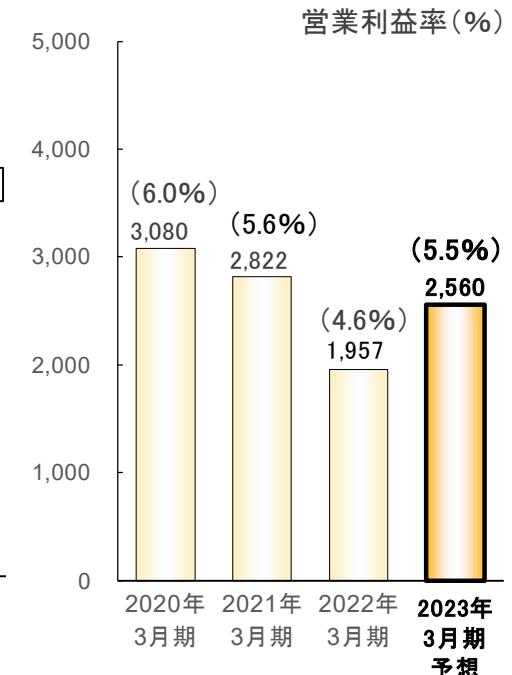
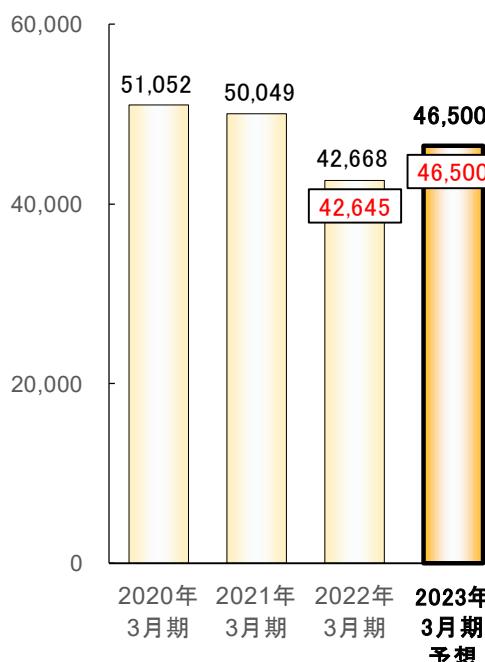
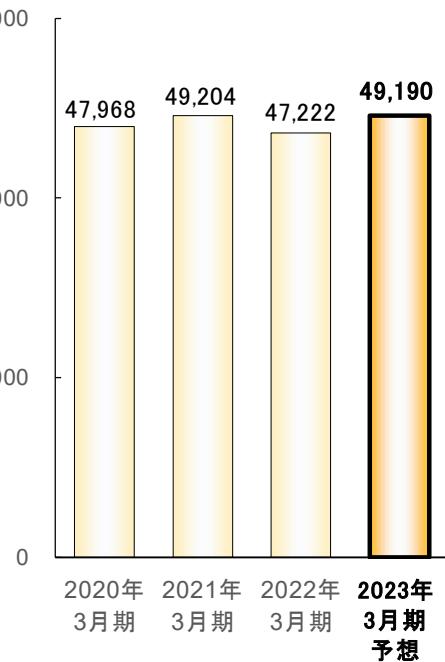
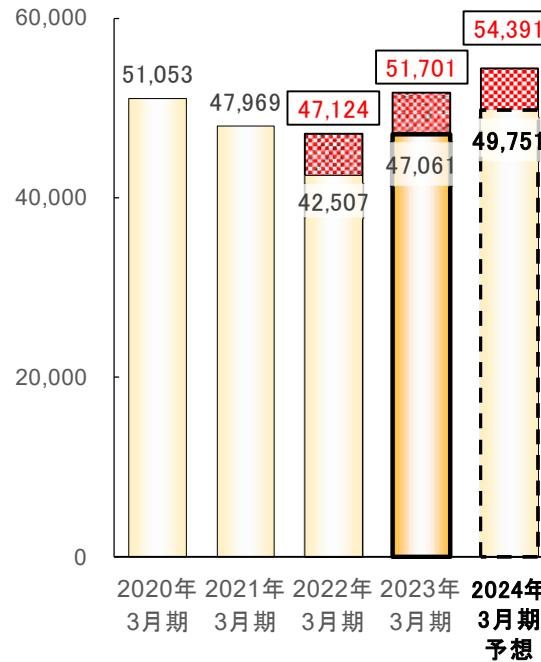
対前期比
+20億円

売上高

対前期比
+38億円

営業利益

対前期比
+6億円



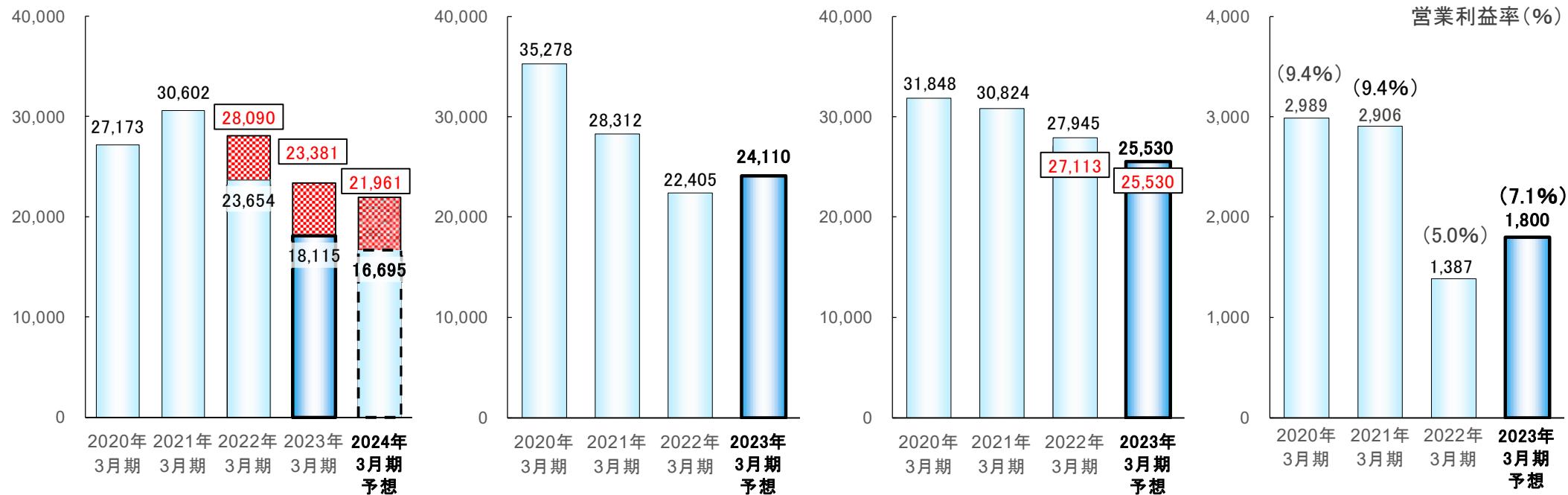
■業績予想のポイント

- 選別受注により不採算工事を回避しつつ成長投資案件等への積極的な営業展開により高水準の受注高を維持
- 豊富な手持工事の効率的な施工と工事採算性の改善により売上高および利益の増加を目指す

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

情報通信工事の予想

(単位:百万円)

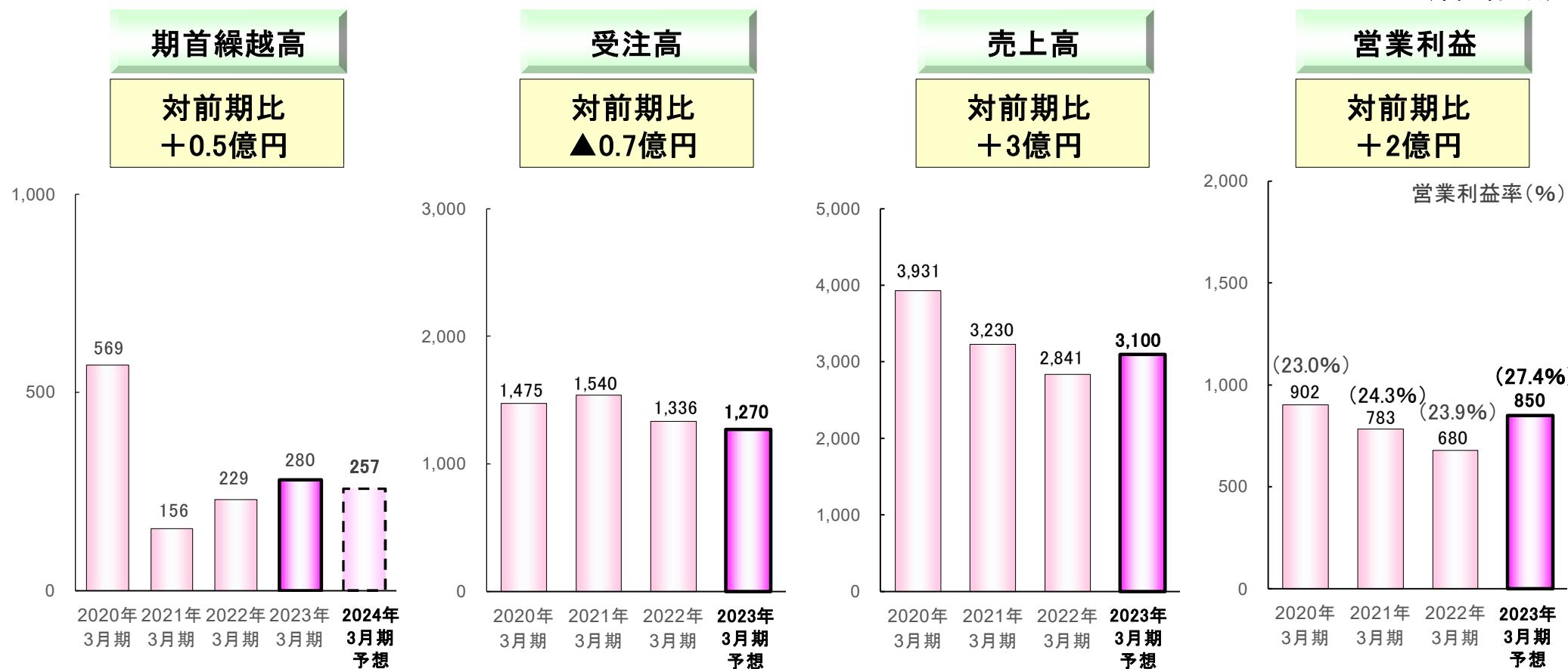


■業績予想のポイント

- ・ネットワーク関連工事への積極的な営業展開により受注高を伸ばす
- ・効率的な施工と工事採算性の改善により売上高の確保と利益の増加を目指す

その他(関連事業等)の予想

(単位:百万円)



■業績予想のポイント

- ・賃貸ビル・賃貸マンションの入居率向上および建築設備・ビルサービス事業の拡大により売上高の増加を目指す

注:「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない。

V. 日本電設3ヶ年経営計画2021

2022年3月期



日本電設工業グループ

◇ 数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期	2024年3月期
	予想	実績	予想	計画
期首繰越高	144,252 172,491	144,252 172,491	144,574 176,147	138,031 169,604
受注高	166,400	172,335	166,850	180,000
売上高	166,200	173,569	175,200	189,900
営業利益	5,900	7,454	9,440	12,400
経常利益	7,000	8,703	10,510	13,600
営業利益率	3.5%	4.3%	5.4%	6.5%
経常利益率	4.2%	5.0%	6.0%	7.2%

赤字は収益認識に関する会計基準等適用による影響を除いた参考値

※2022年4月28日に公表した業績予想は、公表時点入手している情報により作成したもので、今後の受注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

※当社では、中期経営計画以外に単年度の経営計画を策定しており、2023年3月期の予想については、2022年3月期の業績等を考慮し策定しました。

表中、「計画」は中期経営計画を、「予想」は単年度の経営計画を指します。

ニューノーマルに挑む 変革

「安全・品質とコンプライアンス」

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、
コンプライアンスの徹底によりお客様からの信頼をより高めます。

「人と組織の連携で新たな価値創造」

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めた
NDKのチーム力を高め、新たな価値を創造します。

「環境経営の推進」

社員一人ひとりの日々の行動、事業活動を通じて脱炭素社会
の実現に向けた取り組みを推進します。

「自ら考え行動する社員の育成」

社員一人ひとりが気づき力を磨き、
自立的に業務に取り組める人材の育成に注力します。

「働きがいを実感できる職場づくり」

社員一人ひとりが心身ともに健康で働きやすさと働きがいを
実感できる職場づくりを目指します。

主な取り組み施策(安全および施工体制強化)

安全は会社経営上の最重要課題

◇安全推進の基本方針

- ・安全文化の構築
- ・安全かつ着実な施工管理の実施
- ・安全マネジメントの推進
- ・安全レベルの向上

安全の原点への立ち返り

安全文化の創造

私たちは
命を大切にします

私たちは
技術を磨きます

私たちは
健康で明るい**職場**
明るい**家庭**を築きます

安全文化の創造は「人命の尊さ」「人を大切にする心」を
全ての発想の根源として行動する社風を創っていく取り組みです。

安全推進ポスター



電気・危険体感実習室
(NDK安全文化創造館)



VRによる安全教育

技術力・技能の向上、施工体制強化

- ◇社員・協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員育成と資格取得支援
- ◇技術力の底上げと弱点補強強化
- ◇ICTを活用したオンライン教育



中央学園(千葉県柏市)



電車線実習
(軌陸車を150台保有)



資格取得教育

主な取り組み施策(働き方改革)

2022年3月期



日本電設工業グループ

◇生産性向上の取り組み

- ・タブレット端末の活用(画面共有・テレビ会議等)
- ・クラウド共有ファイルサーバの導入
- ・RPAをはじめとしたICT等の先進技術の活用
- ・技術開発による施工の効率化(※1)
- ・作業効率に優れる資材の採用(※2)

◇ワークライフバランスの推進

- ・「女性活躍」や男性社員の「育休」取得の促進

◇長時間労働是正・人事諸制度改正

- ・時間外労働の上限規制順守を2022年度に実現
- ・多様な働き方の実現に向けた制度改正

◇健康経営の推進

- ・生活習慣病予防対策・メンタルヘルス対策の推進
- ・インターバル勤務の推進



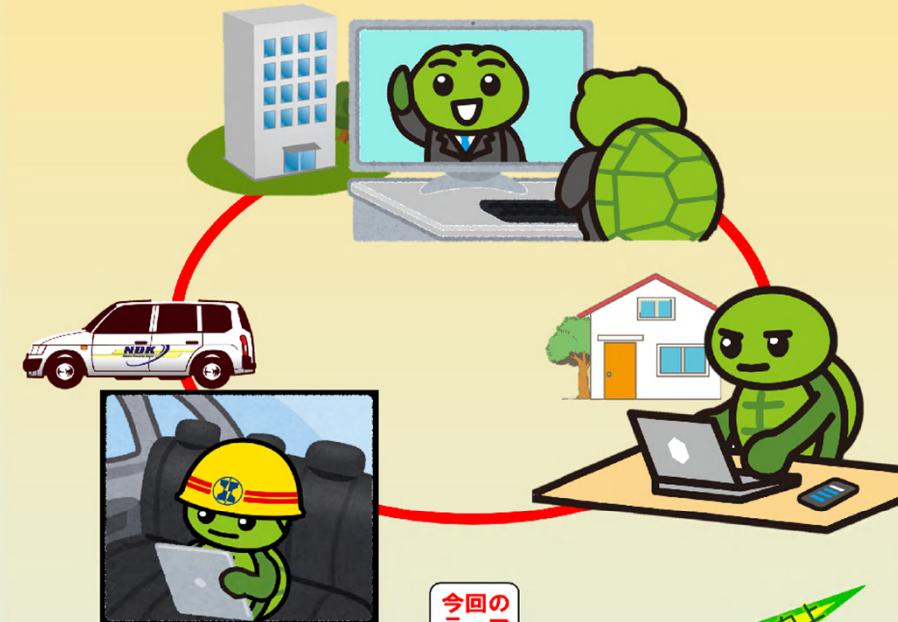
(※1)架空送電工事用ロボットの開発



SAGAアリーナ新築電気設備工事(佐賀県)
【2023年春オープン予定】

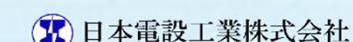
(※2)高機能型低圧アルミ導体CVケーブル
の採用

モバイルワーク推進中!



10のフィルタで仕事量を減らす

掲載期間 2022年4月～2022年9月



日本電設工業株式会社

生産性向上に向けた
「10のフィルタ」による推進

最近の成果

【インテグレート架線化における新工法の開発】

工期の大幅短縮を目的に、電線の切替方法変更による新工法を開発

※従来の工法に比べ約30%の工期短縮



【データセンター向けセーフティ交流分電盤の開発】

安全性の向上を目的に、メーカーと共同で無停電で改修できる構造の分電盤を開発し、製品化
※充電部が露出しない分電盤



現在のテーマ

【剛体電車線用摩耗測定装置の開発】

摩耗測定時間の短縮を目的に、摩耗状態を連続的に測定できる装置を開発中
※従来は定点の手測定により実施



【機力を用いた簡易な電柱基礎工法の開発】

電柱建植の作業時間短縮を目的に、新しい材料や基礎工事の機力化による新工法を開発中

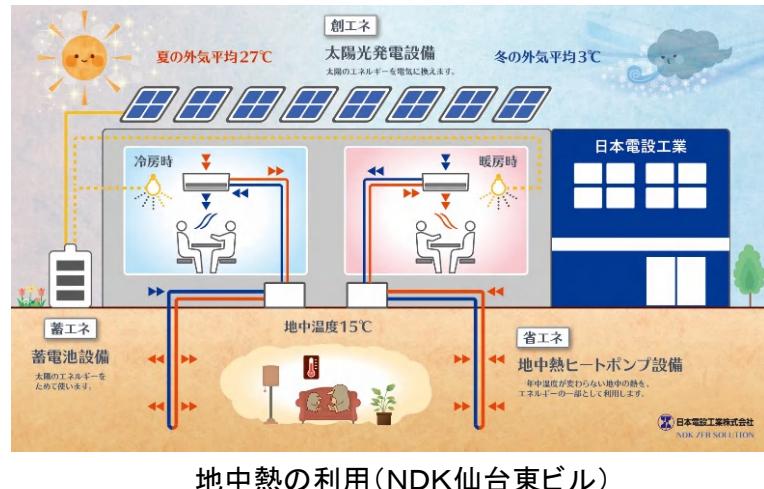


主な取り組み施策(環境等)

環境問題に配慮した建築物

◇ZEB対応の自社ビル 6棟施工

NDK仙台東ビルは、地中熱を利用した空調や太陽光発電と蓄電池などの導入により、当社では初めて100%ZEBとして認証



◇ZEBプランニング 1棟受注

東邦電気工業(株)北海道支店新築工事のZEBコンサルティング・設計業務サービスを受注

◇BELS最高評価(星5つ) 2棟施工



仙建工業(株)福島支店



大栄電設工業(株)本社

社員の創意工夫への外部評価

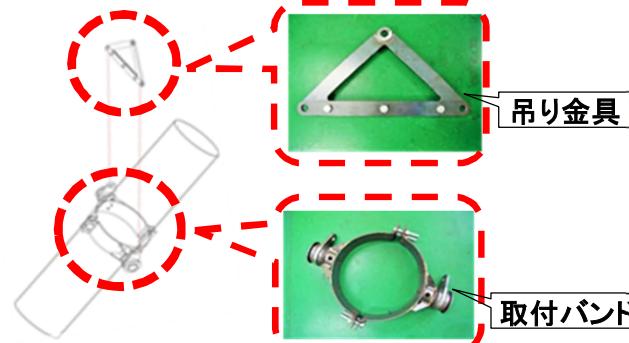
◇令和3年度 第69回電気科学技術奨励賞受賞

電気・危険体感実習室(NDK安全文化創造館)



◇科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞 (創意工夫功労者賞)

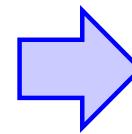
・令和3年度 電柱建植用金具



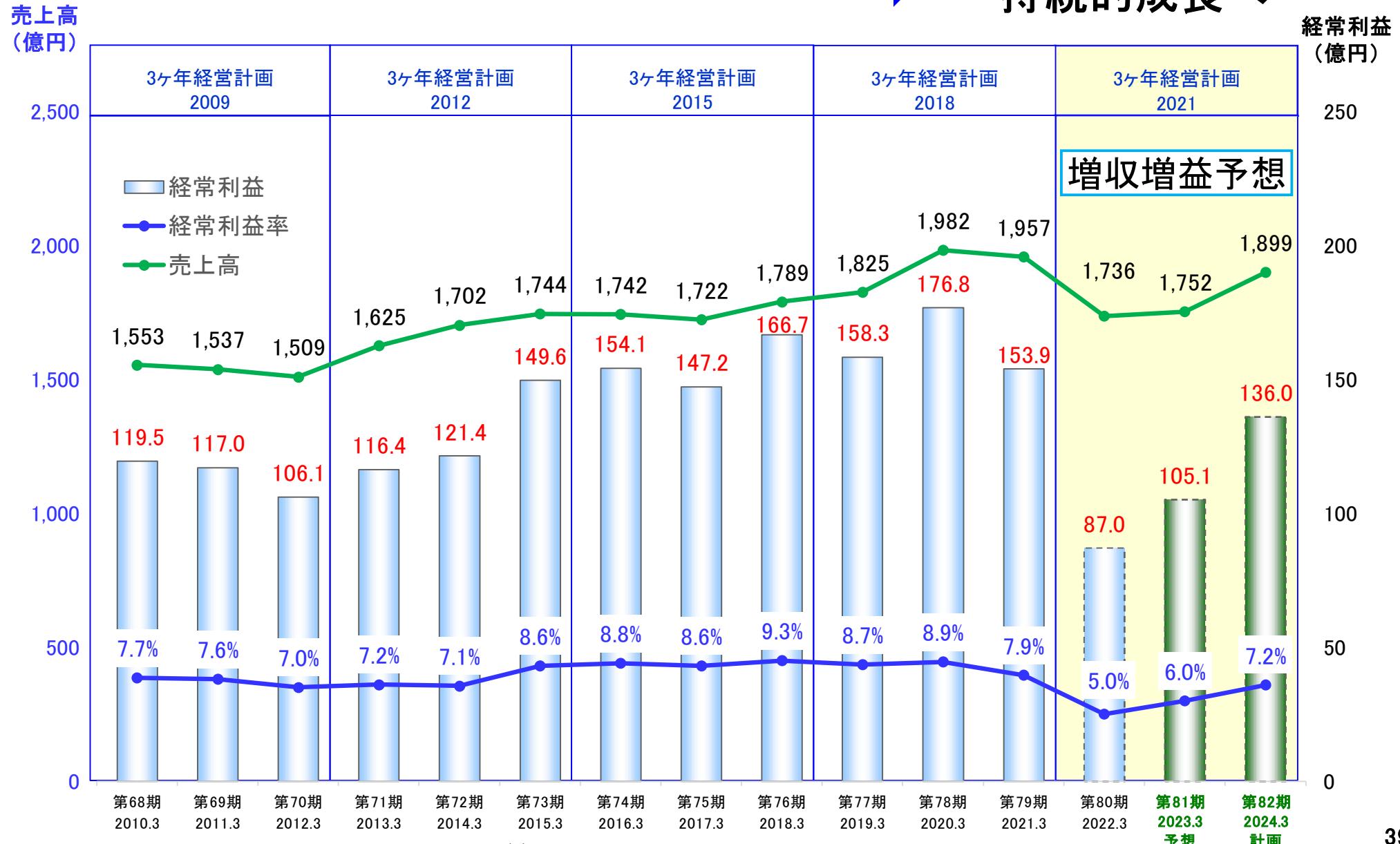
・令和2年度 高架上ケーブル吊り金具



2024年3月期に向かってV字回復



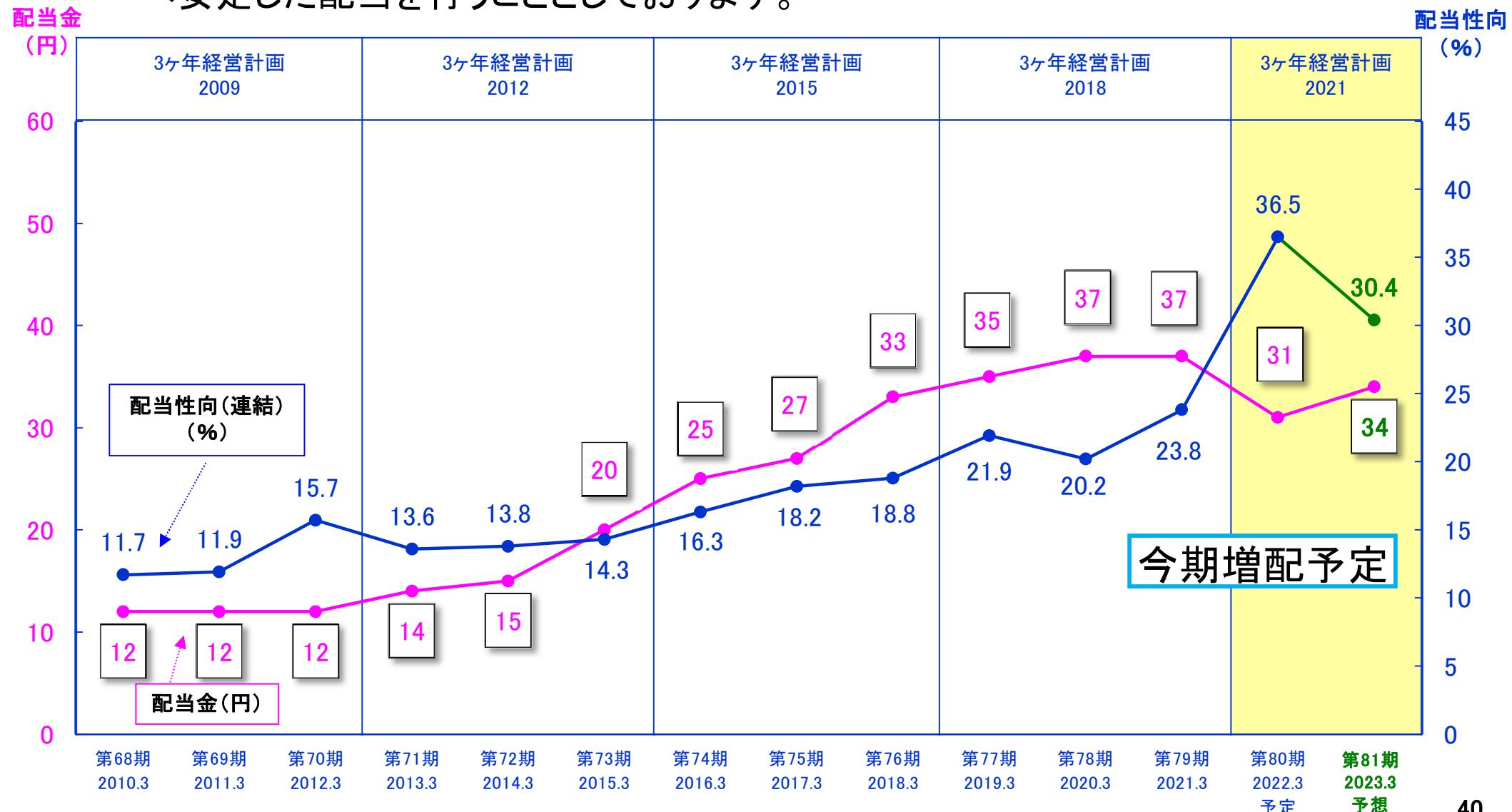
利益を確保し
持続的成長へ



VI. 配当の推移

●利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体質強化のための内部留保や配当性向にも配意しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うこととしております。



本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のことと異なるリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <https://www.densetsuko.co.jp/>